

wave **CSR**

デジタル簡易無線機

(総務省技術基準適合品)

無線局種別コード：3R (登録局)

GX5570UJD181

取扱説明書

このたびは、デジタル簡易無線機GX5570UJD181をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

お買い上げいただきました製品に、万一ご不審な点、お気付きの点などがありましたら、なるべくお早めにお買い上げいただきました販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください

安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは保証書と一緒にいつでも取り出せる場所に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

 禁止	 ぬれ手 禁止	 水ぬれ 禁止	 分解 禁止
 注意	 感電 注意	 指示を 守る	

警告 (無線機について)

- 自動車などの運転中は無線機を操作しないでください。安全運転の妨げとなり、事故の原因となります。



- 当社指定の電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



- タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となります。
- 当社指定の電源ケーブル以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに機器本体の電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、無線機の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店にお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、異物が無線機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店にお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、無線機を落したり、破損した場合は、まず機器本体の電源を切って販売店にお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



- 濡れた手で電源コネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



- この無線機は防水構造になっておりません。無線機を水で濡らしたり、水につけたり、水道やシャワーなどの水流を直接かけることはしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 無線機の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



- 端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、電源コネクタを抜いてください。また、屋外にアンテナが設置されているときは、アンテナコネクタをはずしてください。雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。



警告 (無線機について)

- 送信中にアンテナに触れないでください。やけど・けがの原因となります。
- 機器で指定されていないヒューズは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源コードが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードがこの機器の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



注意 (無線機について)

- この無線機は、国内仕様です。国外では使用できませんのでご注意ください。
- 航空機内や病院などの使用を禁止された場所では、この機器の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源コネクタを抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コネクタを抜くときは、必ずコネクタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。



-
- 使用中は機器が熱を持ちますが、故障ではありません。
-



⚠️ お願い

- 通信は無線局免許状に記載されている目的・通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。
- 1回の送信時間は5分を越えないでください。
- 使用する前には、必ず無線機が正常動作するか、電源電圧などは正常か確認してください。無線機の故障による事故の責任は負いかねます。
- 通信可能範囲は地形および電波状況によって異なります。必ず通信可能範囲でご使用ください。通信不可能状態での事故の責任は負いかねます。



⚠️ 無線局登録が必要です

本機をお使いになる前に、総務省総合通信局への無線局登録申請が必要です。登録申請を行って、無線局登録状がお手元に届いてからご使用ください。

- 1台の無線機を申請される場合は「登録申請」、2台以上の無線機を一括してご購入されたか、将来増設されるご予定がある場合は「包括登録申請」を行ってください。
- 無線局開設後は、電波利用料の納付が必要となります。総務省からの納入告知書に従って、期限内に納付してください。

無線局の登録申請手続きや開設届をしていない、上空で使用する、指定以外のアンテナを使うといった行為は不法無線局の開設となり、1年以下の懲役または100万円以下の罰金に処せられますのでご注意ください。

- デジタル簡易無線登録局は、日本国内の陸上と周辺海域での通信に利用できません。上空で運用すると違法運用となります。
- アンテナは指定のものをお使いください。指定以外のアンテナを使用すると違法運用となります。指定アンテナは、株式会社CSRのホームページをご参照ください。

本製品は米国DVSI社の開発したAMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、AMBE+2™に対応しています。

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form. This software is licensed solely for use within this product. US Patent Nos. #8,359,197, #8,200,497, #6,912,495, #6,199,037, #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,715,365, #5,701,390, #5,649,050, #5,630,011, and #5,517,511.

本書に記載されている会社名、システム名、製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

安全上のご注意	ii	その他の設定	42
絵表示について	ii	マニュアルスケルチの設定方法	42
モデル概要	2	キーロックの設定方法	42
本機の特長	3	通話内容の録音 (ボイス録音)	43
機器の構成	3	UC (ユーザーコード) の設定	43
各部の名称	4	秘話機能のオン・オフ設定	44
各部の機能説明	5	設定の初期化	45
取付方法	8	本体定格	46
本体の取付方法	8	故障とお考えになる前に	47
マイク&スピーカー (CMP500) との		保証・アフターサービス	48
接続方法	9	修理を依頼されるときは	49
マイク&スピーカー (CMP500)	10		
基本操作方法	12		
起動と待受および受信	12		
送信	14		
閉局	14		
通話方法	15		
個別通話	15		
個別通話機能での送信	19		
個別通話機能での受信	21		
エマージェンシー機能	23		
スキャン機能	25		
不在着信機能	26		
設定の変更方法	27		
設定手順の基本	27		
呼出設定モード	31		
機能設定モード	35		
セット管理番号の確認	38		
通常運用での機能呼出	39		

モデル概要

- 本機 GX5570UJD181 はデジタル簡易無線機 登録局 (3R) です。
- 「3R」の表示があるデジタル簡易無線機であれば、他のメーカーのデジタル簡易無線機とも通話が可能です。
- ビジネス、レンタル、レジャーと多彩なシーンで、5Wのハイパワーを生かして広範囲な通話が可能です。
- デジタル簡易無線の登録局は、下表のように分類されています。

種別	ARIB 種別コード	周波数	チャンネル数	使用範囲
登録局	3R	351MHz	30	陸上
登録局 (上空) 利用	3S		5	上空および陸上

- 本機は種別コード「3R」の「登録局」として開発されたもので、スカイスポーツ等、上空でのご利用はできません。

本機のチャンネル構成 (ARIB 無線設備の種別コード「3R」)

◎ チャンネル構成

"CH01" ~ "CH30" のチャンネルが利用可能です。

◎ コールチャンネル

"CH15" は、「コールチャンネル」に設定されています。

コールチャンネルでは、ユーザーコードは自動的に「000」に設定され、秘話通信は自動的に解除されますので、ARIB 規格で定めている「呼出用チャンネル」として、ご利用いただけます。

なお、コールチャンネルは、一時的な呼び出しのみに使用し、継続的な通話は他のチャンネルで行うようにしてください。ユーザーコードおよび秘話通信の設定はコールチャンネルを除く他のチャンネルでのみ有効となります。

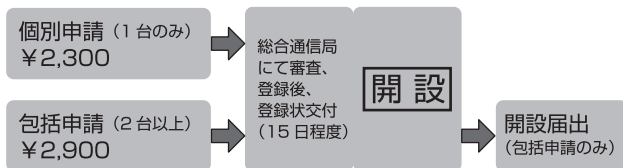
◎ 上空チャンネルモニター

上空チャンネル (1 ~ 5 チャンネル) をモニターすることができます (送信することはできません)。

- デジタル簡易無線機登録局は資格不要で、簡単な登録申請手続きをするだけで、誰でもご利用になれます。

登録申請方法は株式会社 CSR のホームページをご参照ください。

登録申請の流れ



※申請料は、2017 年 06 月現在

本機の特長

- GX5570UJD181 は業務用として開発されたデジタル簡易無線機です。
- シャーシは強度と軽さを重視した、アルミダイキャストによる堅牢構造です。
- 表示部には、大型の液晶表示を使用し、全角6文字、半角英数字12文字によるタグ表示により視認性の向上が図られています。

機器の構成

■ 付属品

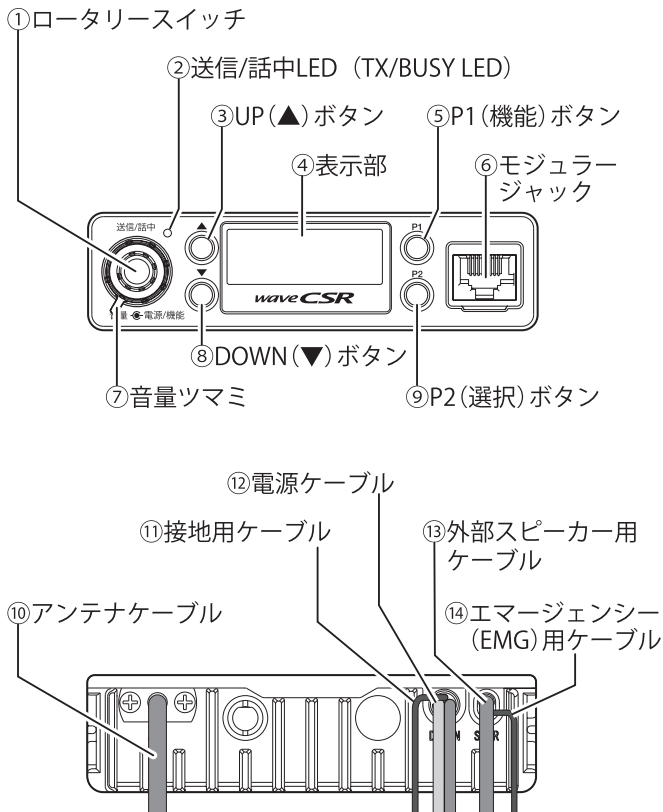
ご使用前に下記の付属品がそろっているか確認してください。

● 無線機本体	1
● 本体取付金具	1
● 本体取付金具用ビス 大 (M5 × 15)	4
● ワッシャー (5.0 × 12.0 × t0.8)	4
● ナット (M5)	4
● タッピングビス (4 × 10)	4
● マイクフック	1
● タッピングビス (3 × 10)	2
● 交換用ヒューズ (250V/5A)	2
● DC 電源ケーブル (約 3m、5A ヒューズ × 2 付き)	1
● マイク & スピーカー (CMP500)	1
● 取扱説明書 (本書)	1
● 保証書	1

■ オプション

● 基地局用電源：	PS500JA
● スタンドマイク：	CSM500
● マイク & スピーカー：	CMP500
● 外部スピーカー：	CSK500
● 設定用ケーブル：	PC-3A

各部の名称



各部の機能説明

① ロータリースイッチ

このスイッチを押して、電源の入・切を行います。
このツマミを右（時計方向）に回すと、チャンネルがアップします。
このツマミを左（反時計方向）に回すと、チャンネルがダウンします。

② 送信/話中LED (TX/BUSY LED)

送信中のときは、赤色が点灯します。
受信すると、緑色に点灯します。

③ UP (▲) ボタン

このボタンを押すとチャンネルがアップします。
このボタンを長押しすると、スケルチ変更モードになります。
設定モードで、このボタンを押すと設定内容の切り替え、数値の変更を行うことができます。

④ 表示部

詳細は、「表示部」をご覧ください。

⑤ P1 (機能) ボタン

このボタンを押すと録音がある場合はボイスメッセージを再生します。
このボタンを押しながら、電源を入れると設定モード（呼出設定・機能設定・CSM 番号）になります。
設定ソフトでキー割付を変更することができます。

⑥ モジュラージャック

マイク&スピーカー (CMP500) またはスタンドマイク (CSM500) を接続します。

⑦ 音量ツマミ

このツマミを右（時計方向）に回すと音が大きくなります。
このツマミを左（反時計方向）に回すと音が小さくなります。

⑧ DOWN (▼) ボタン

このボタンを押すとチャンネルがダウンします。

このボタンを長押しすると、キーロックになります。

設定モードで、このボタンを押すと設定内容の切り替え、数値の変更を行うことができます。

⑨ P2 (選択) ボタン

このボタンを押すと、ユーザーコード設定モードになります。

設定モードで、このボタンを押すと設定内容・数値の決定、項目の変更を行うことができます。

設定ソフトでキー割付を変更することができます。

⑩ アンテナケーブル

指定のアンテナを取り付けます。指定のアンテナ以外は使用しないでください。指定のアンテナにつきましては、販売店にお問い合わせください。

⑪ 接地用ケーブル

⑫ 電源ケーブル

直流 (DC) 12V系または24V系の電源と接続します。これ以外の電源には絶対に接続しないでください。

⑬ 外部スピーカー用ケーブル

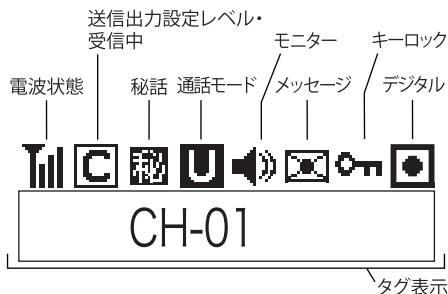
外部スピーカーを接続します。(Φ 3.5 ジャック使用)

外部スピーカーは、8 Ω以上のものをお使いください。

⑭ エマージェンシー (EMG) 用ケーブル

エマージェンシー用スイッチを接続します。スイッチの接続に関しましては、お買い上げになった販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。

■ 表示部

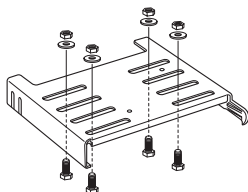


表示の名称	表示の意味と動作
電波状態	受信信号強度を4段階で表示します。
送信出力設定レベル	送信出力設定レベルをH/Lの2段階で表示します。
受信中	受信時は接続中にCが表示されます。
秘話	秘話通話設定中に表示されます。
通話モード	通話モードを表示します。 U：ユーザーコード通話 個：個別通話で個別呼び出し時に表示 G：個別通話でグループ呼び出し時に表示 全：個別通話で一斉呼び出し時に表示
モニター	モニター動作中に表示します。
メッセージ	ショートメッセージを受信時に表示します。
キーロック	キーロック状態時に表示します。
デジタル	チャンネルがデジタルであることを表示します。
タグ表示	全角6文字、半角英数字12文字まで表示されます。 タグ表示を設定していない場合は、チャンネル番号"CH-01"を表示します。 タグ表示の設定は、設定ソフトを使用します。

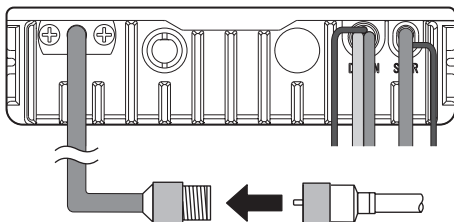
取付方法

本体の取付方法

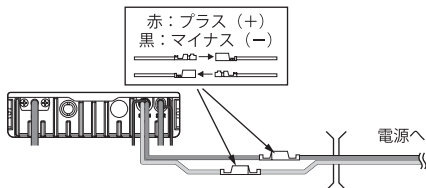
- ① 付属している本体取付金具と本体取付金具用ビス一式を用意します。
- ② 本機を取り付けたい場所に金具の位置に合わせ、穴を開けます。
- ③ 本体取付金具用ビス一式のビスとナットまたはセルフタップネジでネジ止めます。



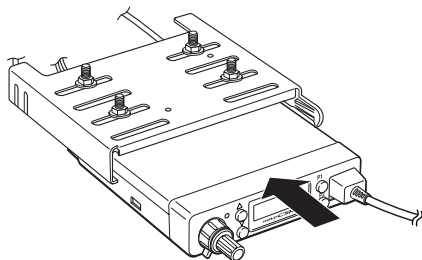
- ④ アンテナ同軸ケーブルを接続します。



- ⑤ 本体電源ケーブルとバッテリー側の電源ケーブルを接続します。
● 電源ケーブルは赤線を＋極に、黒線を－極（アース）に接続してください。

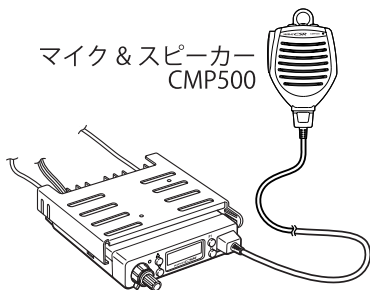


- ⑥ 本体を取付金具に取り付けます。



マイク&スピーカー (CMP500)との接続方法

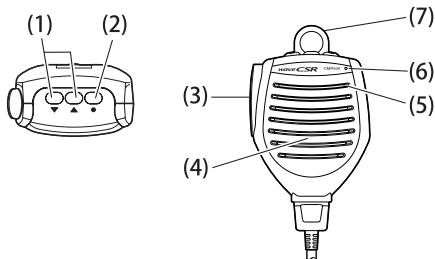
付属のマイク&スピーカー (CMP500) をモジュージャックへ接続します。



マイク＆スピーカー (CMP500)

⚠ 注意

- マイク＆スピーカー (CMP500) は、本機専用です。他の機種には接続しないでください。マイク＆スピーカー (CMP500) を他の機種に接続すると、マイク＆スピーカー (CMP500) を破損するおそれがあります。



(1) 音量アップ・ダウンキー

音量ダウンキー(▼)を押すと、音量が小さくなります。音量アップキー(▲)を押すと、音量が大きくなります。

📋 お問い合わせ

- マイク＆スピーカー (CMP500) を使った音量調整は、電源を切ると解除されます。音量を固定したい場合は、音量ツマミで行ってください。

📖 アドバイス

- このキーには、設定ソフトにて音量アップ、音量ダウン、モニター、エマージェンシー、機能、選択の機能を割り当てることができます。設定ソフトのご使用に関しましては、お買い上げになった販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。

(2) モニターキー

通話状況がモニターできます。

1回押下でモニター動作ONになります。5秒経過するとモニター動作OFFになります。

アドバイス

- このキーには、設定ソフトにて音量アップ、音量ダウン、モニター、エマージェンシー、機能、選択の機能を割り当てることができます。
モニター動作も設定ソフトにて設定できます。
設定ソフトのご使用にしましては、お買い上げになった販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。

(3) プレスキー

押すと送信、離すと受信状態となります。

(4) スピーカー

受信状態の時に音が出ます。

基地局用電源(PS500JA)をご使用の際は、基地局用電源(PS500JA)のスピーカーも使用できます。

(5) マイク

送信時は、この面に向かって話します。

(6) 話中(緑) / 送信(赤) 表示

他局が通話中の時、緑色に点灯します。

送信状態になった時、赤色に点灯します。

※ 無線機本体と同様の点灯表示をします。

(7) マイクハンガー

マイク&スピーカー (CMP500) をマイクフックに掛けるための金具です。

基本操作方法

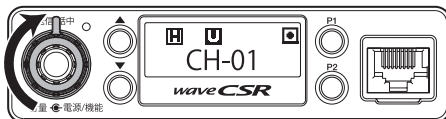
起動と待受および受信

- ① ロータリースイッチを押すと電源が入ります。

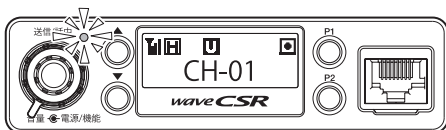
● 表示部が点灯します。



- ② 音量ツマミを半分くらい回します。

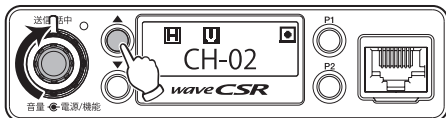


- ③ 信号が入ると話中表示 (緑色) が点灯することを確認します。

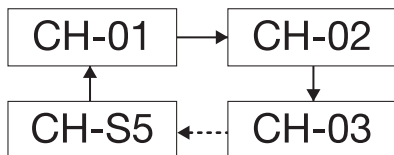


- ④ チャンネルの変更

1) ロータリースイッチを右 (時計方向) に回す、またはUP (▲) ボタンを押すとチャンネルがアップします。



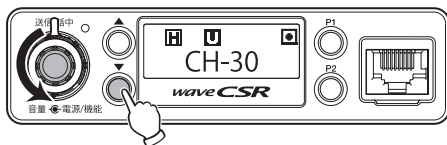
(例：35チャンネル)



※チャンネル数

デジタル：30+5（上空）チャンネル

- 2) **ロータリースイッチ**を左（反時計方向）に回す、または**DOWN（▼）ボタン**を押すとチャンネルがダウンします。

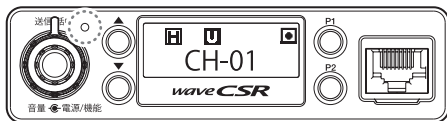


アドバイス

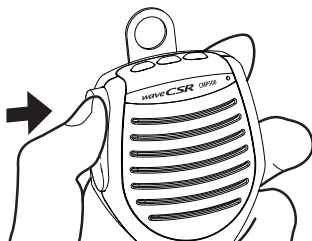
- チャンネル番号が異なると通話できません。相手局の了解を得てからチャンネルの変更を行ってください。

送信

- ① 送信する前には必ず本体またはマイク&スピーカー（CMP500）の話中表示が消えていることを確かめてください。



- ② マイク&スピーカー（CMP500）の**プレスキー**を押します。



- このとき本体およびマイク&スピーカー（CMP500）の送信表示（赤色）が点灯します。
- ③ マイク&スピーカー（CMP500）は、口もとから5cmぐらい離して、ゆっくり明瞭に話します。
 - ④ 送話が終わったら直ちに**プレスキー**を離します。
 - このとき本体およびマイク&スピーカー（CMP500）から送信表示が消え、待受状態になります。

閉局

送受信が終わり閉局する時は、その旨を相手局（基地局または移動局）に伝えてから**ロータリースイッチ**を押して電源を切ります。電源を切ると表示部が消えます。

⚠ 注意

- アンテナを接続しない状態では、送信しないでください。本機が故障する原因となることがあります。

通話方法

個別通話

個別通話の前には、あらかじめ呼出設定モードで自局の個別番号、グループ番号を設定しておきます。

- 個別番号は0001～9999の設定が可能です。
- グループ番号は01～99の設定が可能です。

通話には次の3種類があります。

- 個別通話：1:1で通話します。
- グループ通話：同じグループに設定されている者同士が通話します。
- 一斉通話：全員と連絡ができます。

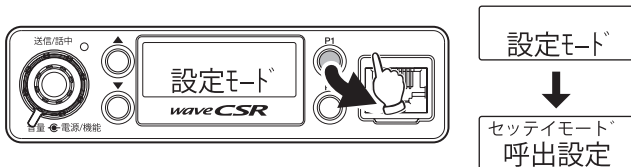
■ UC通話から個別通話への切り替え

- ① **P1（機能）ボタン**を押したまま、**ロータリースイッチ**を押して電源を入れます。



- 「設定モード」が表示されるまで、**P1（機能）ボタン**を押し続けてください。「設定モード」が表示される前に、**P1（機能）ボタン**を離すと、通常の起動となります。

- ② 「設定モード」が表示されたら、**P1（機能）ボタン**を離します。



P1（機能）ボタンを離すと「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。

- ③ **P2 (選択) ボタン**を押します。



ツウワ
UC 通話



ツウワ
~~UC 通話~~

- P2 (選択) ボタンを押した時に、「UC通話」が点滅します。

- ④ **UP (▲) または DOWN (▼) ボタン**を押して、「個別通話」を選択します。



ツウワ
~~UC 通話~~



ツウワ
~~個別通話~~

- ⑤ **P2 (選択) ボタン**を押して、「個別通話」を決定します。



ツウワ
~~個別通話~~



ツウワ
個別通話

- 「個別通話」が点滅から点灯に変わります。

- ⑥ **ロータリースイッチ**を押して電源を切ります。

- ⑦ 再度ロータリースイッチを押して電源を入れます。

■ 個別通話から UC 通話への切り替え

- ① **P1 (機能) ボタン**を押したまま、**ロータリースイッチ**を押して電源を入れます。



●「設定モード」が表示されるまで、**P1 (機能) ボタン**を押し続けてください。

- ② 「設定モード」が表示されたら、**P1 (機能) ボタン**を離します。



設定モード



セッテイモード
呼出設定

● **P1 (機能) ボタン**を離すと、「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。

- ③ **P2 (選択) ボタン**を押します。



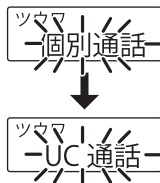
ツウワ
個別通話



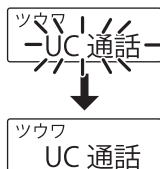
ツウワ
~~個別通話~~

● **P2 (選択) ボタン**を押した時に、「個別通話」が点滅します。

- ④ **UP (▲)** または **DOWN (▼)** ボタンを押して、「UC 通話」を選択します。



- ⑤ **P2 (選択)** ボタンを押して、「UC 通話」を決定します。



●「UC 通話」が点滅から点灯に変わります。

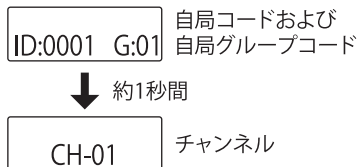
- ⑥ **ロータリースイッチ**を押して電源を切ります。
- ⑦ 再度**ロータリースイッチ**を押して電源を入れます。

個別通話機能での送信

- ① ロータリースイッチを押して電源を入れます。



- 自局コードおよび自局グループコードが約1秒間表示されます。その後チャンネルが表示されます。



- ② P2 (選択) ボタンを押します。



- ③ **P2 (選択) ボタン**を押し、**UP (▲)**または**DOWN (▼) ボタン**を押して、発呼したい相手局コードに合わせます。

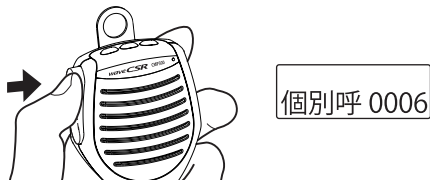


- ロータリースイッチを回して、相手局コードの桁を移動できます。
- ここでの手順で、呼出方法も変更できます。「呼出方法の変更」をご覧ください。

- ④ **P2 (選択) ボタン**を押し相手局のコードを決定します。



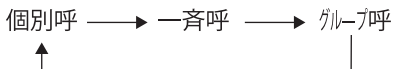
- ⑤ マイク&スピーカー (CMP500) の**プレスキー**を押します。



- ⑥ 相手が出ましたら、マイク&スピーカー (CMP500) のマイクに向かって話します。

■ 呼出方法の変更

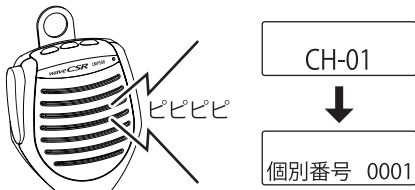
- ① **ロータリースイッチ**を押して電源を入れます。
- ② 相手局コードが表示されたら、**P2 (選択) ボタン**を2回押します。
- ③ **UP (▲)**または**DOWN (▼) ボタン**を押して、呼出方法を選択します。



- ④ **P2 (選択) ボタン**を押して呼出方法を決定します。

個別通話機能での受信

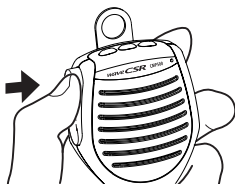
- ① マイク&スピーカー (CMP500) から呼び出されたことを示す「ピピピピ」音が鳴っていることを確認します。



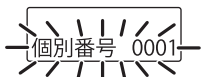
- 呼び出されると発呼元の個別コードが表示されます。次のように、発呼元の個別コードは個別呼出し、グループ呼出し、または一斉呼出しで表示されます。

個別呼出し	個別番号 0001
グループ呼出し	グループ番号 01
一斉呼出し	一斉

- ② マイク&スピーカー（CMP500）の**プレスキー**を押して、マイク向かって話します。



- 応答できなかった場合は、発呼元の個別コードが点滅し、不在着信状態になります。



エマージェンシー機能

エマージェンシー機能は、エマージェンシーコードの送受信を行い、次のいずれかの方式で、他の人からの非常事態を知らせます。

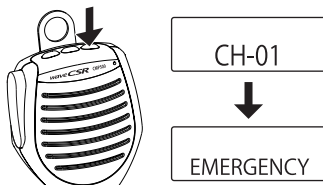
- 大きな音でブザーを鳴らす
- 同一グループ内で緊急コードの送受信を行う
- 大きな音でブザーを鳴らしたうえ、同一グループ内で緊急コードの送受信を行う

アドバイス

- エマージェンシー機能を使うには、呼出設定モードであらかじめ設定しておく必要があります。
 - エマージェンシースイッチの設定は、設定ソフトを使用します。
エマージェンシースイッチの機能は、次のボタンまたはキーに割り当てることができます。
 - ・本機の **P1 (機能)** ボタンまたは **P2 (選択) ボタン**
 - ・マイク&スピーカー (CMP500) の **音量アップ・ダウンキー** または **モニターキー**
- エマージェンシースイッチの設定に関しましては、お買い上げになった販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。

■ エマージェンシーコードの送信

- ① 表示部に「EMERGENCY」が表示されるまで、**エマージェンシースイッチ** を押し続けます (約2秒間)。



※エマージェンシースイッチがマイク&スピーカー (CMP500) のモニターキーに設定されている場合

- あらかじめ設定したエマージェンシー機能の動作を行います。
 - エマージェンシーコードを送信すると、本機は受信および送信ができなくなります。
- ② **エマージェンシースイッチ** を離します。
- ③ 通常の操作に戻るには、**エマージェンシースイッチ** を2秒以上押します。

■ エマージェンシーコードの受信

- ① エマージェンシーコードを受信すると、発呼元の個別コード（一斉/個別番号/グループ番号）と「EMERGENCY」が表示されることを確認します。
 - エマージェンシーコードを受信すると、本機は受信および送信ができなくなります。
- ② 受信側が通常の操作に戻るには、次のいずれかを押して、エマージェンシー機能を解除します。
 - ・本機の **P1 (機能) ボタン** または **P2 (選択) ボタン**、**UP (▲) ボタン**、**DOWN (▼) ボタン**
 - ・マイク&スピーカー (CMP500) の **音量アップ・ダウンキー** または **モニターキー**
 - 送信側がエマージェンシー機能を解除していない場合、再度エマージェンシーコードを受信します。

⚠ 注意

- エマージェンシーコードを受信すると、本機は受信および送信ができなくなります。また、エマージェンシーコードを送信しても、本機は受信および送信ができなくなります。
- 送信側は通常の通信を行うには、エマージェンシースイッチを長押し（約2秒間）して、エマージェンシー機能を解除してください。
- 送信側がエマージェンシー機能を解除していない場合、受信側は通話することができません。（最大約5分間）
- 受信したエマージェンシーコードは、本機には記憶されません。エマージェンシー機能を解除する前に、メモなどを取ることをお勧めします。

スキャン機能

スキャン機能は、スキャン有効を設定したチャンネルを順番にスキャンし、信号を入感したチャンネルを自動的に受信できます。

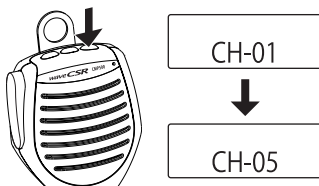
アドバイス

- スキャン機能は、UC通話での使用が可能です。
- スキャン機能は、個別通話では使用できません。
- スキャン機能を使うには、機能設定モードであらかじめ設定しておく必要があります。
- スキャン（エマージェンシー）スイッチの設定は、設定ソフトを使用します。
スキャン（エマージェンシー）スイッチは、次のボタンまたはキーに割り当てることができます。
 - ・ 本機の **P1（機能）** ボタンまたは **P2（選択）** ボタン
 - ・ マイク&スピーカー（CMP500）の **音量アップ・ダウンキー** または **モニターキー**スキャン機能の設定に関しましては、お買い上げになった販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。

■ スキャン動作

① スキャン（エマージェンシー）スイッチを押します。

- あらかじめ設定したスキャン動作を行います。



※スキャン（エマージェンシー）スイッチがマイク&スピーカー（CMP500）のモニターキーに設定されている場合

② スキャン動作を停止するには、再度**スキャン（エマージェンシー）**スイッチを押します。

不在着信機能

他局からの個別呼出しに応答できなかった場合、不在着信機能が働きます。不在着信機能は、次のような働きをします。

- 呼び出した発呼元の個別コードを表示
- 新しい不在着信があると、古い不在着信は消去されます。
- 一斉呼出しまたはグループ呼び出しで呼ばれた場合は、不在着信機能は動作しません。

※電源を切ると、不在着信は消去されます。

- ① 不在着信があったことを示す発呼元の個別コードが点滅していることを確認します。



- ② マイク&スピーカー (CMP500) の**プレスキー**を押して応答します。
- ③ チャンネル表示に戻るには、**P1 (機能) ボタン**を押します。

設定の変更方法

設定手順の基本

■ 設定モードの選択方法

- ① **P1（機能）ボタン**を押したまま、**ロータリースイッチ**を押して電源を入れます。



- 「設定モード」が表示されるまで、**P1（機能）ボタン**を押し続けてください。「設定モード」が表示される前に、**P1（機能）ボタン**を離すと、通常の起動となります。

- ② 「設定モード」が表示されたら、**P1（機能）ボタン**を離します。



設定モード



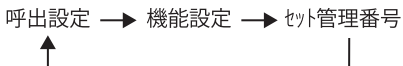
セッテイモード
呼出設定

- 「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。

- ③ 設定モードを切り替えるには、**P1 (機能) ボタン**を押します。



- **P1 (機能) ボタン**を押すたびに、設定モードは以下のように切り替わられます。



- ④ 選択した設定モードを決定するには、**P2 (選択) ボタン**を押します。



(呼出設定で **P2 (選択) ボタン**を押した場合)

- 各設定モードの最初の項目が表示されます。



(機能設定で **P2 (選択) ボタン**を押した場合)



(セット管理番号で **P2 (選択) ボタン**を押した場合)

■ 設定項目の選択・設定方法

- ① 「設定モードの選択方法」を行い、設定モードを決定する



● 各設定モードの最初の項目が表示されます。

- ② **P2 (選択) ボタン**を押し、**UP (▲)** または **DOWN (▼)** ボタンを押して、項目を選択します。



- ③ 選択した項目を決定するには、**P2 (選択) ボタン**を押します。



● 変更する項目が点滅します。

- ④ **UP (▲)** または **DOWN (▼)** ボタンを押して、項目の設定値または設定内容を変更します。また、ロータリースイッチを回して桁移動などを行います。



●変更する項目は点滅のままです。

- ⑤ 変更した内容を決定するには、**P2 (選択) ボタン**を押します。



●ピッピッと音が鳴って変更が決定されます。

- ⑥ 他の項目を選択するには、手順②から同様の操作を行います。

- ⑦ 設定を終了するには、**ロータリースイッチ**を押して電源を切ります。



呼出設定モード

■ 呼出モードの設定方法

- ① **P1 (機能) ボタン**を押したまま、**ロータリースイッチ**を押して電源を入れ、「設定モード」が表示されたら、**P1 (機能) ボタン**を離します。
 - 「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。
- ② **P2 (選択) ボタン**を押します。
 - 「ツウワ UC通話」または「ツウワ 個別通話」が点滅表示されます。
- ③ **P2 (選択) ボタン**を押します。
- ④ **UP (▲)** または **DOWN (▼) ボタン**を押して項目を選択し、**P2 (選択) ボタン**を押して決定します。
- ⑤ 以下の項目の設定値または設定内容を **UP (▲)** または **DOWN (▼) ボタン**を押して項目を選択し、**P2 (選択) ボタン**を押して決定します。
※設定モードの選択方法の詳細は、「設定モードの選択方法」をご覧ください。
設定項目の選択・設定方法の詳細は、「設定項目の選択・設定方法」をご覧ください。

選択項目および表示例	選択内容	初期値
通話方式 ツウワ UC通話	UC通話と個別通話 (P2 (選択) ボタン を押す[点滅]、▲/▼で選択、 P2 (選択) ボタン で決定) ● UC (ユーザーコード) 通話 同じチャンネル、UC (ユーザーコード) を設定している相手局と通話ができる方式です。 ● 個別通話 同じチャンネル、UC (ユーザーコード) を設定している特定の相手局やグループのみを呼び出して通話できる方式です。	UC通話

選択項目および表示例	選択内容	初期値
UC（ユーザーコード） 通話方式 UCツウワ チャンネル共通	チャンネル共通⇄チャンネル別 (P2（選択）ボタンを押す[点滅]、 P2（選択）ボタン を押す[選択項目点滅]、▲/▼で選択、 P2（選択）ボタン で決定) ● チャンネル共通 全てのチャンネルでUC（ユーザーコード）を共通にします。 ● チャンネル別 各チャンネルごとにUC（ユーザーコード）を設定します。	チャンネル共通
UC（ユーザーコード） 通話コード UCツウワ ユーザーコード 000	000⇄001 … 510⇄511 (P2（選択）ボタンを押す[点滅]、▲/▼で1づつ増減、 ロータリースイッチ で桁移動、 P2（選択）ボタン で決定) ● 設定できるユーザーコードは511までです。 ● 設定できないコード番号を選択しても「ブツ」音がして設定できません。	000
自局ID個別番号 ジキョクID 個別番号 0001	0001⇄0002 … 9998⇄9999 (P2（選択）ボタンを押す[点滅]、▲/▼で1づつ増減、 ロータリースイッチ で桁移動、 P2（選択）ボタン で決定) ● 設定できる自局ID個別番号は9999までです。 ● 0000は、自局ID個別番号に設定できません。	0001
自局IDグループ番号 ジキョクID グループ番号 01	01⇄02 … 98⇄99 (P2（選択）ボタンを押す[点滅]、▲/▼で1づつ増減、 ロータリースイッチ で桁移動、 P2（選択）ボタン で決定) ● 設定できる自局IDグループ番号は99までです。 ● 00は、自局IDグループ番号に設定できません。	01

選択項目および表示例	選択内容	初期値
秘話設定 ヒワ チャンネル共通	チャンネル共通⇄チャンネル別 (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、P2 (選択) ボタンで決定) ● 設定した秘話鍵が一致する相手局のみ交信できる機能です。 ● 秘話機能を使用する場合、秘話鍵の設定および秘話機能をオンにする必要があります。 ● チャンネル共通 全てのチャンネルで秘話鍵を共通にします。 ● チャンネル別 各チャンネルごとに秘話鍵を設定します。	チャンネル共通
秘話コード ヒワ 秘 話 鍵 00001	00001⇄00002…32766⇄32767 (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で1つつ増減、ロータリースイッチで桁移動、P2 (選択) ボタンで決定) ● 設定できる秘話鍵は32767までです。 ● 設定できない鍵番号を選択しても「ブツ」音がして設定できません。 ● 00000は、秘話鍵に設定できません。	00001
UC通話着信ビープ ツウワビープ UC 通 話 0 回	0回⇄1回⇄2回⇄ (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、P2 (選択) ボタンで決定) ● 着信時のビープ音の回数を設定します。	0回
個別通話着信ビープ ツウワビープ 個 別 通 話 1 回	1回⇄2回⇄0回⇄ (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、P2 (選択) ボタンで決定) ● 着信時のビープ音の回数を設定します。	1回
グループ通話着信ビープ ツウワビープ グループ通話 1 回	1回⇄2回⇄0回⇄ (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、P2 (選択) ボタンで決定) ● 着信時のビープ音の回数を設定します。	1回

選択項目および表示例	選択内容	初期値
一斉通話着信ビープ ツウワビープ 一 斉 通 話 1回	1回↔2回↔0回↔ (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 P2 (選択) ボタンで決定) ● 着信時のビープ音の回数を設定します。	1回
不在着信ビープ ツウワビープ 不 在 着 信 5秒	5秒↔20秒↔連続↔OFF↔ (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 P2 (選択) ボタンで決定) ● 不在着信時のビープ鳴動時間を設定します。	5秒
エマージェンシーモード エマージェンシー モード ビープ	OFF↔ビープ/ソウシン↔ソウシン↔ビープ↔ (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 P2 (選択) ボタンで決定) ● 緊急ビープ機能の動作を設定することができます。 ビープ：緊急ビープ音が鳴動します。 ソウシン：自局IDを含んだ緊急信号を送信します。 ※ UC通話設定時は、無変調で送信します。 (緊急信号含まず) ビープ/ソウシン：上記2つの動作を行います。	ビープ
エマージェンシー宛先 エマージェンシー 宛 先 一 斉	一斉↔個別↔グループ↔ (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、 P2 (選択) ボタンで決定) ● 緊急信号の送信先を選択します。	一斉

- の項目は、通話方式が「個別通話」を選択しているときに表示されます。
- の項目は、通話方式が「UC通話」を選択しているときに表示されます。

機能設定モード

■ 設定モードの選択方法

- ① **P1 (機能) ボタン**を押したまま、**ロータリースイッチ**を押して電源を入れ、「設定モード」が表示されたら、**P1 (機能) ボタン**を離します。
 - 「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。
- ② **P1 (機能) ボタン**を押し、「セッテイモード 機能設定」が表示されたら、**P2 (選択) ボタン**を押します。
 - 「パワー 送信出力 HI」または「パワー 送信出力 LOW」が点滅表示されます。
- ③ **P2 (選択) ボタン**を押します。
- ④ **UP (▲)**または**DOWN (▼)** ボタンを押して項目を選択し、**P2 (選択) ボタン**を押して決定します。
- ⑤ 以下の項目の設定値または設定内容を**UP (▲)**または**DOWN (▼)** ボタンを押して項目を選択し、**P2 (選択) ボタン**を押して決定します。
※設定モードの選択方法の詳細は、「設定モードの選択方法」をご覧ください。
設定項目の選択・設定方法の詳細は、「設定項目の選択・設定方法」をご覧ください。

選択項目および表示例	選択内容	初期値
送信出力 パワー 送 信 出 力 HI	送信出力HI↔送信出力LOW (P2 (選択) ボタン を押す[点滅]、▲/▼で選択、 P2 (選択) ボタン で決定) ● 送信出力の設定を行いません。	HI
マイク感度 マイクカンド 0.0dB	-9.0dB↔-7.5dB↔・・・↔-1.5dB↔0.0dB↔+1.5dB ↔・・・↔+7.5dB↔+9.0dB (P2 (選択) ボタン を押す[点滅]、▲/▼で1.5 づつ増減、 P2 (選択) ボタン で決定) ● 無線機本体のマイクの感度を設定します。 ● マイクの感度は以下になります。 -9.0dB (低)↔・・・↔0.0dB (標準)↔・・・ ↔+9.0dB (高)	0.0dB

選択項目および表示例	選択内容	初期値
表示部輝度 LCD 輝 度 レ ベ ル 08	01⇔02 … 08 … 14⇔15 (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で1つ増減、P2 (選択) ボタンで決定) ● 表示部のコントラストを調整します。	08
ビープ音量 ビープ 音 量 LOW	HI⇔LOW⇔OFF⇔ (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、P2 (選択) ボタンで決定) ● 「OFF」を選択すると、ビープ音は出なくなります。ここでのビープ音量の設定は呼出設定モードなどエマージェンシーを除く全てのビープ音に反映されます。	LOW
送信ビープ ビープ 送信ビープ OFF	OFF⇔ON (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、P2 (選択) ボタンで決定) ● マイク&スピーカー (CMP500) の プレスキー が押された時にビープ音を鳴動します。	OFF
受信ビープ ビープ 受信ビープ OFF	OFF⇔ON (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、P2 (選択) ボタンで決定) ● 受信時にビープ音を鳴動します。	OFF
上空チャンネル ジョウクウCH OFF	OFF⇔ON (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、P2 (選択) ボタンで決定) ● 上空用チャンネルをモニターすることができます。なお、このチャンネルで送信することはできません。	OFF
スキャン設定 スキャン OFF	OFF⇔ON (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、P2 (選択) ボタンで決定) ● スキャン有効を設定したチャンネルを順番に受信し、信号を入感したチャンネルを自動的に受信することができます。 ● 呼出設定モードの通話方式が「UC通話」を選択されているときに表示されます。「個別通話」が選択されているときは表示されません。また、スキャン動作しません。	OFF

選択項目および表示例	選択内容	初期値
スキャン再開 スキャンRX OFF	OFF⇄ON (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で1つ増減、P2 (選択) ボタンで決定) ● 信号の入感が無くなった場合、スキャン再開動作の選択ができます(スキャンポーズ解除)。	OFF
バックライト設定 バックライト ON	ON⇄OFF⇄AUTO (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、P2 (選択) ボタンで決定) ● 「ON」を選択するとLCDバックライトが常時点灯となります。 ● 「OFF」を選択するとLCDバックライトが常時消灯となります。 ● 「AUTO」を選択するとLCDバックライトが電源が入った時あるいはボタン操作で点灯し、点灯後約5秒で自動消灯します。	ON
初期化 ショキカ OFF	OFF⇄ON (P2 (選択) ボタンを押す[点滅]、▲/▼で選択、P2 (選択) ボタンで決定) ● 設定を工場出荷状態に初期化します。 ● 初期化を行うと、機能設定モードだけではなく、呼出設定モードも初期化されます。初期化を行う前には、呼出設定モードの各コードを予め控えておくことをお勧めします。	OFF

-  の項目は、通話方式が「UC通話」を選択しているときに表示されます。

セット管理番号の確認

■ セット管理番号の確認方法

- ① **P1 (機能) ボタン**を押したまま、**ロータリースイッチ**を押して電源を入れ、「設定モード」が表示されたら、**P1 (機能) ボタン**を離します。
 - 「セッテイモード 呼出設定」が表示されます。
- ② **P1 (機能) ボタン**を2回押し、「セッテイモード セット管理番号」が表示されたら、**P2 (選択) ボタン**を押します。
 - CSMコード番号が表示されます。
- ③ セット管理番号の確認を終えるには、**ロータリースイッチ**を押して電源を切ります。

通常運用での機能呼出

- ① **ロータリースイッチ**を押して電源を入れます。
 - 通常運用となり、チャンネルが表示されます。
- ② **P1 (機能) ボタン**を押します。
 - 「プレイバックデータ ナシ」または「プレイバックデータ アリ」が表示されます。
- ③ **UP (▲) または DOWN (▼) ボタン**を押して項目を選択し、**P2 (選択) ボタン**を押して決定します。
- ④ 以下の項目の内容を **UP (▲) または DOWN (▼) ボタン**を押して項目を選択し、**P2 (選択) ボタン**を押して決定します。

選択項目および表示例	機能内容および操作方法
プレイバック再生 プレイバックデータ ナシ	■ 「プレイバックデータ ナシ」表示時：プレイバックデータ無し P2 (選択) ボタンを押す→「ブツ」音（無効ビープ音） ■ 「プレイバックデータ アリ」表示時：プレイバックデータ有り P2 (選択) ボタンを押す→録音内容再生 ● 電源を切ると、録音内容は消去されます。 ● P1 (機能) ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。

選択項目および表示例	機能内容および操作方法
ボイス再生 ボイスサイセイ ナシ	モニターボタンを長押しして録音した相手局の音声（ボイス録音）を再生します。 ■「ボイスサイセイ ナシ」表示時：ボイス録音無し P2（選択）ボタンを押す→「ブツ」音（無効ビープ音） ■「ボイスサイセイ XX」表示時：ボイス録音有り （XXはボイス録音の番号を示します。ボイス録音の番号は01～10です。） P2（選択）ボタンを押す→録音内容再生 ロータリースイッチを回す→ボイス録音番号切り替え ● 電源を切っても、録音内容は消去されません。 ● P1（機能）ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。
ボイスメッセージ ボイスメッセージ ナシ	ボイス録音の内容を送信することができます。 ■「ボイスメッセージ ナシ」表示時：ボイス録音無し P2（選択）ボタンを押す→機能無し ロータリースイッチを回す→機能無し ■「ボイスメッセージ XX」表示時：ボイス録音有り （XXはボイス録音の番号を示します。ボイス録音の番号は01～10です。） P2（選択）ボタンを押す→ボイス録音番号切り替え ロータリースイッチを回す→ボイス録音番号切り替え マイク&スピーカー（CMP500）のプレスキーを押す→録音内容送信→チャンネル表示に戻る ● 電源を切っても、録音内容は消去されません。 ● P1（機能）ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。
着信履歴 着信履歴	着信履歴を表示できます。 ロータリースイッチを回す→着信履歴切り替え ● 電源を切ると、着信履歴は消去されます。 ● P1（機能）ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。
発信履歴 発信履歴	発信履歴を表示できます。 ロータリースイッチを回す→発信履歴切り替え ● 電源を切ると、発信履歴は消去されます。 ● P1（機能）ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。

選択項目および表示例	機能内容および操作方法
ショートメッセージ送信 ショートメッセージTX	予め設定されているショートメッセージを送信できます。 1回目 P2 (選択) ボタンを押す→ショートメッセージ01表示 2回目以降 P2 (選択) ボタンを押す→ショートメッセージ切り替え ロータリースイッチを回す→ショートメッセージ切り替え マイク&スピーカー (CMP500) のプレスキーを押す→ショートメッセージ送信→チャンネル表示に戻る ● 予め設定されているショートメッセージは以下のようになります。 緊急事態デス 連絡クダサイ 急イデクダサイ 集合シテクダサイ 作業中デス 出発シマシタ 到着シマシタ 開始シマシタ 終了シマシタ 了解シマシタ ● 電源を切ったり、初期化しても、設定されているショートメッセージは消去されません。 ● P1 (機能) ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。
ショートメッセージ履歴 ショートメッセージリレキ	ショートメッセージの着信履歴を表示できます。 1回目 P2 (選択) ボタンを押す→ショートメッセージの着信履歴01表示 2回目 P2 (選択) ボタンを押す→ショートメッセージの着信履歴切り替え ロータリースイッチを回す→ショートメッセージの着信履歴切り替え ● 電源を切ると、ショートメッセージ履歴は消去されます。 ● P1 (機能) ボタンを押すと、チャンネル表示に戻ります。

-  の項目は、呼出設定モードにて通話方式が「個別通話」を選択しているときに表示されます。

その他の設定

通常運用時に設定を変更できます。

マニュアルスケルチの設定方法

※キーロック設定時でも変更可能です。

- ① **ロータリースイッチ**を押して、電源を入れます。
- ② **UP (▲) ボタン**を長押しします。
 - 「スケルチレベル 1」が表示され、スケルチレベル変更モードになります。
- ③ **UP (▲) または DOWN (▼) ボタン**を押してスケルチ感度を変更します。
 - スケルチ感度を、スレッシュホールドに近づけたい場合は、**DOWN (▼) ボタン**を押して、スケルチ感度を下げます。
 - スケルチ感度を、タイトに近づけたい場合は、**UP (▲) ボタン**を押して、スケルチ感度を上げます。
 - スケルチ感度「0」：スケルチオフ
 - スケルチ感度「8」：スケルチタイト
- ④ スケルチの感度を決定するには、**UP (▲) および DOWN (▼) ボタン**を4秒以上操作せずに放置します。
 - スケルチ感度が決定され、元のチャンネル表示に戻ります。

キーロックの設定方法

- ① **ロータリースイッチ**を押して、電源を入れます。
- ② **DOWN (▼) ボタン**を長押しします。
 - 「」(キーロックマーク)が表示され、キーロックが働きます。
 - 本体の**音量ツマミ**および**マイク&スピーカー (CMP500) のプレスキー**は、キーロック中でも使用できます。また、**エマージェンシーボタン**および**スケルチ変更モード**も使用可能です。
- ③ キーロックを解除するには、**DOWN (▼) ボタン**を長押しします。
 - 「」(キーロックマーク)が消え、キーロックが解除されます。

通話内容の録音（ボイス録音）

相手局との通話内容（受信内容）を録音することができます。

※通話内容の録音には、マイク&スピーカー（CMP500）を使用します。

- ① マイク&スピーカー（CMP500）の●（**モニター**）**ボタン**を長押しします。
 - 通話内容の録音が始まります。
 - ※マイク&スピーカー（CMP500）の●（**モニター**）**ボタン**がモニターに設定されている必要があります。
- ② 録音を停止するには、再度マイク&スピーカー（CMP500）の●（**モニター**）**ボタン**を長押しします。
 - 相手局の送信が停止した場合も録音を停止します。
 - ここで録音した内容は、ボイスサイセイとして、録音内容を確認できます。
 - ここで録音した内容は、ボイスメッセージとして、録音内容を送信することができます。
 - 録音は、最大10項目まで可能です。各項目の最長録音時間は約60秒です。

UC（ユーザーコード）の設定

呼出設定モードの通話方式にて「UC通話設定」が選択されている時、通常運用時でもUC設定が可能です。

- ① **P2（選択）ボタン**を1回押します。
 - UC（ユーザーコード）が表示されます。
- ② 再度、**P2（選択）ボタン**を押します。
 - UC（ユーザーコード）の一桁目が変更できるようになります。
 - ロータリースイッチ**を回して、UC（ユーザーコード）の桁を移動できます。
- ③ **UP（▲）**または**DOWN（▼）ボタン**を押して数値を変更します。
- ④ UC（ユーザーコード）を決定するには、**P2（選択）ボタン**を押します。
- ⑤ 通常運用に戻るには、**P1（機能）ボタン**を押します。

秘話機能のオン・オフ設定

通常運用時での秘話機能のオンまたはオフを設定します。

- ① **P2 (選択) ボタン**を1回押します。
 - UC (ユーザーコード) または相手局の個別コードが表示されます。
- ② **UP (▲) または DOWN (▼) ボタン**を押します。
 - 「秘話」と秘話の設定が表示されます。
- ③ **P2 (選択) ボタン**を押します。
 - 秘話のオンとオフを切り替えることができますようになります。
- ④ **UP (▲) または DOWN (▼) ボタン**を押して、秘話のオン (ON) とオフ (OFF) を切り替えます。
- ⑤ 秘話機能の設定を決定するには、**P2 (選択) ボタン**を押します。
- ⑥ 通常運用に戻るには、**P1 (機能) ボタン**を押します。

設定の初期化

設定した機能を初期化し、工場出荷状態に戻すことができます。

※ 機能設定モードでも同様の初期化ができます。

※ 全体初期化を行う前には、呼出設定モードの各コードを予め控えておくことをお勧めします。

- ① **ロータリースイッチ**を押して、電源を切ります。
- ② **P1 (機能) ボタン**と**P2 (選択) ボタン**を押したまま、**ロータリースイッチ**を押して、電源を入れます。
- ③ 「SET 設定リセット」が表示されたら、**P1 (機能) ボタン**と**P2 (選択) ボタン**を離します。
 - 「SET 設定リセット」が表示される前に、各ボタンを離すと、通常運用になります。
- ④ 初期化するには、**P2 (選択) ボタン**を押します。
 - 本機が初期化され、工場出荷状態に戻ります。
 - 初期化しない場合は、**ロータリースイッチ**を押し、電源を切ってください。
- ⑤ 「SET 設定リセット」表示が点滅から点灯になってから、**ロータリースイッチ**を押して、電源を切ります。

本体定格

■ 一般

使用周波数.....	351.2000MHz ~ 351.38125MHz 351.16875MHz ~ 351.19375MHz (受信のみ)
電波形式	F1C、F1D、F1E、F1F
通信方式	単信方式
電源電圧	DC13.8V/26.4V ± 10%
発振方式	水晶発振により制御する周波数シンセサイザー方式
使用温度範囲	- 20℃ ~ + 60℃
寸法	幅 115mm 高さ 30mm 奥行き 194.2mm (突起物含まず)
質量	約 665g

■ 送信部

送信出力	5W、1W 以下
周波数の偏差	± 0.9ppm 以内
占有周波数帯幅.....	5.8kHz 以内
スプリアス発射強度	2.5 μ W 以下
最大周波数偏移	± 1324 Hz 以下
変調方式	4値FSK

■ 受信部

受信方式	スーパーヘテロダイン方式
受信感度	-2dBuV 以下 (BER=1%)
低周波出力.....	2.0W 以上 (8 Ω 負荷)
副次的に発する電波等の限度	4nW 以下

故障とお考えになる前に

サービスを依頼される前に、ご面倒ですが次のことをお調べください。
下記項目を確認しても正常に動作しない場合は、お買い上げになった販売店またはCSRカスタマーサポートにご相談ください。

■電源が入らない

- ヒューズが切れている。→ヒューズを交換してください。
- 電源ケーブルの接続不良。→電源ケーブルを正しく接続してください。

■送信できない

- 送信時、「ブツ」というピープ音がする。→回線が使用されている状態です。しばらく待ってから再度送信してください。または、チャンネルを変更してください。
- マイク&スピーカー (CMP500) のモジュラーの接続不良。→マイク&スピーカー (CMP500) のモジュラーを正しく接続してください。

■受信できない

- 音が小さくて聞こえない。→音量を調整してください。
- マイク&スピーカー (CMP500) のモジュラーの接続不良。→マイク&スピーカー (CMP500) のモジュラーを正しく接続してください。

■自局または相手の電波が届かない。

- アンテナが外れている、または緩んでいる。→アンテナをきちんと取り付けてください。
- 地下またはトンネル内である。→外に出てから交信してください。

保証・アフターサービス

■【保証書（別添）】

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■【保証期間】

保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

■【保証用性能部品の最低保有期限】

弊社はこの本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

■【修理に関する相談窓口】

修理に関するご相談ならびに不明な点はお買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

CSR カスタマーサポート



0120-973-698

e-mail : lecuo_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間 9:00 ～ 17:00（土日祝日を除く）

修理を依頼されるときは

「故障とお考えになる前に」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

お願い

- 修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願い致します。また、本機の故障、誤動作、不具合などによって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■【保証期間中は】

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートが修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■【保証期間が過ぎているときは】

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。修理をご依頼のときは、製品名、製造番号、お買い上げ日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号をお知らせください。

■【修理料金の仕組み】（有料修理の場合は次の料金が必要です）

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理及び付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、測定器など設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。



NEXT GEARS Co.,Ltd
For Speedy Communication Service

ネクストギアーズ株式会社

東京オフィス 〒121-0064 東京都足立区保木間 4-25-4
TEL : 03-5831-0185 FAX : 03-5831-0186

大阪オフィス 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 4-5-19 1F
TEL : 06-4862-7203 FAX : 06-4862-7204

株式会社CSR

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野 5 丁目 33 番 4 号

当社の最新情報をインターネット上で確認してください。

<http://www.kcsr.co.jp/>

CSR カスタマーサポート



0120-973-698

e-mail : lecuo_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間

9:00 ~ 17:00

(土日祝日を除く)

お問い合わせは、販売店あるいは CSR カスタマーサポートで承っております。